

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）研究成果発表報告書

1. 機関番号：1 2 3 4 5
2. 研究種目：基盤研究（C）
3. 研究者番号：1 0 2 3 4 5 6 7
4. 研究課題番号：2 3 0 1 2 3 4 5
5. 研究課題名：〇〇〇・・・・・〇〇
6. 研究代表者名（フリガナ）：学振 太郎（ガクシントロウ）
7. 所属研究機関・部局・職： 〇〇〇大学・〇〇学部・教授
8. 研究発表

[雑誌論文] 計(1)件    うち査読付論文 計(1)件

著者名		論文標題			
学振太郎		〇〇〇の研究			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	
〇〇学会誌	有	1巻	2 1 0 1 1 4	1 9 ~ 3 2	
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）					
10.1002/LSICI10002-8231(199601)47:1<23:TDOMTT>2.0TX:2-2					

[学会発表] 計(2)件    うち招待講演 計(2)件

発表者名		発表標題	
学振太郎		〇〇〇の研究の発展的展開	
学会等名	発表年月日	発表場所	
応用〇〇学会	2 0 1 4 年 7 月 1 0 日	〇〇国際会館（東京都）	

発表者名		発表標題	
学振太郎		〇〇研究の〇〇ダイナミクス	
学会等名	発表年月日	発表場所	
〇〇〇〇学会	2 0 1 4 年 9 月 1 1 日	〇〇ホール（米国・ニューヨーク）	

[図書] 計(0)件

著者名		出版社	
書名		発行年	総ページ数
		1 1 1	

9. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

[出願]

産業財産権の名称	発明者名	権利者名	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別
〇〇の〇〇技術	学振太郎	学振大学	特許、特願2014-217666	2014年6月1日	国内

[取得]

産業財産権の名称	発明者名	権利者名	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
〇〇技術	学振太郎	学振大学	特許、特許第 37844444 号	2015年9月1日	国内
				出願年月日	
				2014年6月1日	

## 様式 F-24、25 【作成上の注意】

### 【F-24】

1. この様式は、科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）による研究成果が図書・雑誌等に掲載されたとき及び研究成果報告書（様式F-19）で報告された出願中の産業財産権（特許・実用新案権・意匠権）が成立した場合（新たに出願した場合を含む）に研究代表者が作成し、所属研究機関を経由して速やかに提出すること。それぞれの種別ごとに記入した研究発表の合計件数を記入すること。

なお、提出にあたっては、特に公文書を添える必要はない。

2. 様式はA4判縦長で作成すること。
3. 研究成果が掲載された図書・雑誌等については添付の必要はない。
4. 「8. 研究発表」欄については、それぞれの研究発表の種類ごとに本様式に記入した合計の件数を記入すること。

#### ①雑誌論文

著者（第一著者）名、論文標題、雑誌名（大学の研究紀要等を含む。）、査読の有無、巻、発行年（西暦）及び最初と最後の頁を記入すること。

電子ジャーナル等でページ数の表示がない場合は、「—」と記入すること。

なお、電子ジャーナルに掲載された論文のうち、DOI（デジタルオブジェクト識別子）コードが付されている論文の場合は、WEB上に表示された当該識別コードをコピーし、所定の欄に記載すること。

#### ②学会発表

発表者（代表）名、発表標題、学会等名、発表年月日、発表場所を記入すること。

招待講演の場合は、学会等名の次に（招待講演）と記入すること。

#### ③図書

著者（第一著者）名、出版社名、書名、発行年（西暦）及び総ページ数（共著の場合は最初と最後の頁）を記入すること。

5. 「9. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況」の「発明者名」と「権利者名」が同一の場合には、「権利者名」欄には、「同左」と記入すること。
6. 研究実績報告書又は研究成果報告書に記載したものについては、改めて提出する必要はない。

### 【F-25】

1. この様式は、科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）による研究成果が新聞に掲載されたとき又は研究機関のホームページに掲載した場合に研究代表者が作成し、所属研究機関を経由して速やかに提出すること。

なお、提出にあたっては、特に公文書を添える必要はない。

2. 様式はA4判縦長で作成し、原則として「9. 掲載された記事部分」箇所に掲載された記事を画像等で貼り付けるか、別紙で添付すること。また、研究機関のホームページに掲載した場合には、該当のページを添付すること。